

審査基準の策定について

1. 審査基準の考え方

- (1) 応募事案の審査を行うため、事業の目的との整合性、事業の適格性・計画性合理性、事業者適格性、事業の効果などを審査基準の項目として設定する。

2. 審査の項目

- (1) 化石由来プラスチックを代替する省 CO₂ 型バイオプラスチック等(再生可能資源)への転換及び社会実装化実証事業

- ① 代替素材の普及可能量
- ② 代替素材普及に対する課題の解消度
- ③ 代替素材普及に対する確度
- ④ 実証技術の波及効果
- ⑤ 事業計画・スケジュール
- ⑥ エネルギー起源 CO₂ 排出削減量等環境負荷の低減
- ⑦ 経費の妥当性

- (2) プラスチック等のリサイクルプロセス構築及び省 CO₂ 化実証事業

- ① リサイクルプロセス構築に対する課題の解消度
- ② 実現した場合の循環型社会への貢献の見込み
- ③ 事業終了後の出口戦略
- ④ 実証事業の波及効果
- ⑤ 事業計画・スケジュール
- ⑥ エネルギー起源 CO₂ 排出削減量等環境負荷の低減
- ⑦ 経費の妥当性

3. 審査基準

(1) 化石由来プラスチックを代替する省CO₂型バイオプラスチック等(再生可能資源)への転換及び社会実装化実証事業

審査項目	審査の観点	得点配分(係数)
① 代替素材の普及可能性	○対象としている化石資源由来プラスチックが、代替を図ろうとしている用途において、どの程度使われているか。 ○上記の内、どの程度を代替素材に置き換える予定か。	15(3)
② 代替素材普及に対する課題の解消度	○代替素材への移行、普及のボトルネックとなっている課題(化石資源由来プラスチックとのコスト差や代替素材の性能、機能の向上など)が技術実証によって、どの程度解消されるか。	25(5)
③ 代替素材普及に対する確度	○価格競争性や代替素材製品の市場動向が見通せるなど、実証事業終了後の代替促進の確度がどの程度あるか。	20(4)
④ 実証技術の波及効果	○技術の実証によって、目的としていた用途以外の代替が進むなど、波及効果が期待されるか。	15(3)
⑤ 事業計画・スケジュール	○事業の計画・スケジュールが具体的かつ実施可能なものであるか。	5(1)
⑥ エネルギー起源CO ₂ 排出削減量等環境負荷の低減	○社会実装によって実現されるCO ₂ 排出量の削減効果、循環資源の循環的な利用の促進効果、エネルギー削減効果、及びその他の環境影響の低減効果がどの程度見込まれるか。 ○上記環境影響低減量に係る評価方法が妥当か。	10(2)
⑦ 経費の妥当性	○代替素材の普及に係る事業成果との比較で経費が妥当なものか。	10(2)
合計		100
採点は各項目につき、優：5点、良：3点、可：1点、不可0点、の4段階評価とし、各項目の点数に係数を乗じて得点を算出する。満点は100点とする。		

(2) プラスチック等のリサイクルプロセス構築及び省CO₂化実証事業

審査項目	審査の観点	得点配分(係数)
① リサイクルプロセス構築に対する課題の解消度	○本事業の目的にそった課題を的確に把握しているか。 ○その課題解決策が明確に示されているか。 ○課題解決策(手法)が、効率的効果的であるか。	15(3)
② 実現した場合の循環型社会への貢献の見込み	○リサイクルを通してどのような循環型社会が構築されるか。 ○事業が実現した場合、循環型社会の貢献が的確に示されているか。	25(5)
③ 事業終了後の出口戦略	○事業終了後、リサイクル品の価格競争性や利用先の市場動向が見通せるなど、実証事業終了後の製品利用の確度がどの程度あるか。	20(4)
④ 実証事業の波及効果	○技術の実証によって、構築されたプロセスが他方でも進むなど、波及効果が期待されるか。	15(3)
⑤ 事業計画・スケジュール	○事業の計画・スケジュールが具体的かつ実施可能なものであるか。	5(1)
⑥ エネルギー起源CO ₂ 排出削減量等環境負荷の低減	○リサイクルの実現によって算出されるCO ₂ 排出量の削減効果、循環資源の循環的な利用の促進効果、エネルギー削減効果、及びその他の環境影響の低減効果がどの程度見込まれるか。 ○上記環境影響低減量に係る評価方法が妥当か。	10(2)
⑦ 経費の妥当性	○当該事業に係る経費算出は、事業成果との比較で妥当なものか。	10(2)
合計		100
採点は各項目につき、優：5点、良：3点、可：1点、不可0点、の4段階評価とし、各項目の点数に係数を乗じて得点を算出する。満点は100点とする。		